

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

このたび、下記の検査項目におきまして、測定試薬メーカーより測定試薬添付文書が改訂された旨の連絡がありました。この改訂に伴い検査内容の一部を変更させていただきますので案内申し上げます。

先生方にはご不便をお掛け致しますが、弊社事情をご賢察のうえ、ご了承のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

変更項目

- EGFR遺伝子変異解析《血漿》 :項目コード 7691

変更期日

平成30年2月1日(木)受託分より変更

変更内容

※ 詳細につきましては、裏面の内容をご参照願います。



保健科学グループ

保健科学研究所	〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106	TEL.045-333-1661
保健科学東日本	〒365-8585 埼玉県鴻巣市天神3-673	TEL.048-543-4000
保健科学西日本	〒612-8486 京都府京都市伏見区羽束師古川町328	TEL.075-933-6060
保健科学東京	〒160-0001 東京都新宿区片町3-3	TEL.03-3357-3611
保健科学新潟	〒950-0054 新潟県新潟市東区秋葉1-6-31	TEL.025-275-0161

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	総合検査案内掲載ページ
7691	EGFR遺伝子変異解析《血漿》	<p>容器保存方法(安定性)</p> <p>サ凍結(31日)</p> <p>欄外留意事項</p>	<p>サ凍結(31日)</p> <p>【EGFR 遺伝子変異解析《血漿》のご依頼上の留意事項】</p> <p>① EDTA-2K の採血管を用いて採血後、必ず 8 時間以内に血漿分離を実施し、別容器(滅菌スピッツ)に分取して凍結保存して下さい。</p> <p>② 別容器(滅菌スピッツ)に血漿を分取する際には、白血球成分由来のゲノム DNA の混入を防ぐため、デカンテーションを行わないで下さい。</p> <p>③ 他項目との重複依頼は避けて下さい。</p> <p>④ 本検査はコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取および遠心分離後の血漿分取にあたっては取扱いに十分ご注意下さい。</p> <p>⑤ 血漿検査が先に実施され、EGFR 遺伝子変異陰性の結果が得られた場合には、可能な限り組織検査の実施を考慮して下さい。</p> <p>⑥ 組織検査で EGFR T790M 変異陰性且つ血漿検査で EGFR T790M 変異陽性の集団が少なからず存在しますが、当該集団におけるオシメルチニブメシル酸塩の有効性は確認されていません。</p> <p>⑦ 血漿検査は組織検査と完全に置き換わる検査ではございません。</p> <p>⑧ 血漿検査の選択とその結果の解釈の際には、日本肺癌学会が発出している「肺癌患者における EGFR 遺伝子変異検査の手引き」等の最新の情報を参考にして下さい。</p> <p>⑨ 削除</p>	<p>サ凍結</p> <p>【EGFR 遺伝子変異解析《血漿》のご依頼上の留意事項】</p> <p>① EDTA-2K の採血管を用いて採血後、必ず 4 時間以内に血漿分離を実施し、別容器(滅菌スピッツ)に分取して凍結保存して下さい。</p> <p>② 別容器(滅菌スピッツ)に血漿を分取する際には、白血球成分由来のゲノム DNA の混入を防ぐため、デカンテーションを行わないで下さい。</p> <p>③ 他項目との重複依頼は避けて下さい。</p> <p>④ 本検査はコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取および遠心分離後の血漿分取にあたっては取扱いに十分ご注意下さい。</p> <p>⑤ 血漿検査が先に実施され、EGFR T790M 変異陰性の結果が得られた場合には、可能な限り組織検査の実施を考慮して下さい。</p> <p>⑥ 組織検査で EGFR T790M 変異陰性且つ血漿検査で EGFR T790M 変異陽性の集団が少なからず存在しますが、当該集団におけるオシメルチニブメシル酸塩の有効性は確認されていません。</p> <p>⑦ 血漿検査は組織検査と完全に置き換わる検査ではございません。</p> <p>⑧ 血漿検査の選択とその結果の解釈の際には、日本肺癌学会が発出している「肺癌患者における EGFR 遺伝子変異検査の手引き」等の最新の情報を参考にして下さい。</p> <p>⑨ 血漿検査では、EGFR T790M 以外の変異は臨床的意義が確認されていません。</p>	測定試薬添付文書改訂に伴う変更です。	132